

つきいち

月1原発映画祭 + 交流カフェ

3.12を忘れない

～映画でみる・知る・感じる原発～

毎月1回（第1土曜日予定）、原発に関連した映画・映像を上映し、ゲストを迎えてお話を聞いたり、意見交換・情報交換をしたり、日ごろの思いや疑問を語り合ったりする交流の場を提供します。脱原発を願う人も、脱原発に疑問を持つ人もお気軽にご参加ください！



会場：谷中の家（台東区谷中3-17-11）

*会場地図と参加方法は裏面をごらんください

第9回 お正月スペシャル 1月5日(土)14:00～17:00（開場13:30）

『ネコマチッタ物語～ゼブラさんの手紙』 上映+げんぱつかるた大会

【第1部 映画とお話】 14:00～14:50

■『ネコマチッタ物語』上映

木の猫人形(ウッドール)の作家・小嶋伸さんと人形アニメーションのプロたちが、福島原発事故後に大人から子どもたちへのメッセージとして、精魂込めて制作したストップモーションアニメの短編映画。ネコマチッタで起きた、ちょっとほろ苦くて忘れちゃいけない、そんな過去のお話です。本当の豊かさとは？ 大切なことは？ 勇気と英知で新しい扉を開いた猫たちがくりひろげる、心にしみる作品。(20分) <http://www.nekomacitta.com/>



■小嶋伸さんのお話とメイキング映像上映

『ネコマチッタ物語』の原作者でウッドール作家の小嶋さんに、この映画の誕生や制作のいきさつ、作品への想いを語っていただきます。当日は実物の人形も持ってきてくださいます。小嶋伸さんのHP(クリ工房) <http://www.geocities.jp/kurikobokojima/index.html>

【第2部 げんぱつかるた大会とお話、交流カフェ】 15:00～17:00

■「げんぱつかるた」の作者、古知屋恵子さんのお話

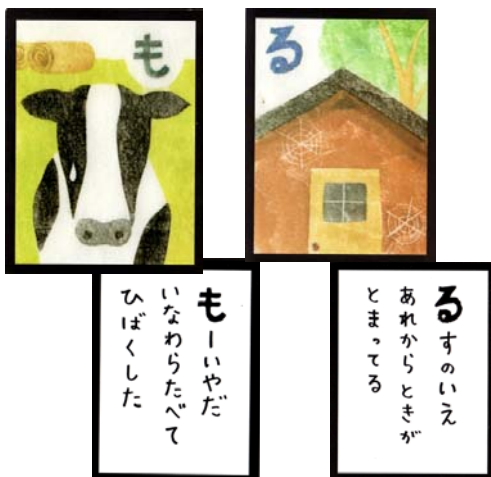
福島原発事故への憤りを込めて「げんぱつかるた」を制作した木版画家の古知屋恵子さんにお話をうかがいます。古知屋さんは素朴で温かみにあふれる木版画作品と共に、戦争や現代社会を題材にした創作絵本も手がけておられ、表現者としての一貫した姿勢を感じます。その独特の作品世界にぜひふれてください。

■げんぱつかるた大会

参加者全員でかるた取りをします。札を取った人にひとことスピーチをお願いしながら、ワイワイ楽しくやりたいと思います。

■交流カフェ

軽食とワインやハーブティをお供に語り合います。さしずめ新年の抱負など。



■参加費（中学生以下無料）

第1部：400円／第2部：かるた参加費と飲食代として600円～のカンパをお願いします。

■定員：30人

■申込み方法：以下のいずれかの方法で予約をしてください。

①ひがし広場のHPの申し込みフォームから

<http://kokucheese.com/event/index/66868/>

②メール masa5884@y8.dion.ne.jp

(件名を「月1原発映画祭申込み」としてください)

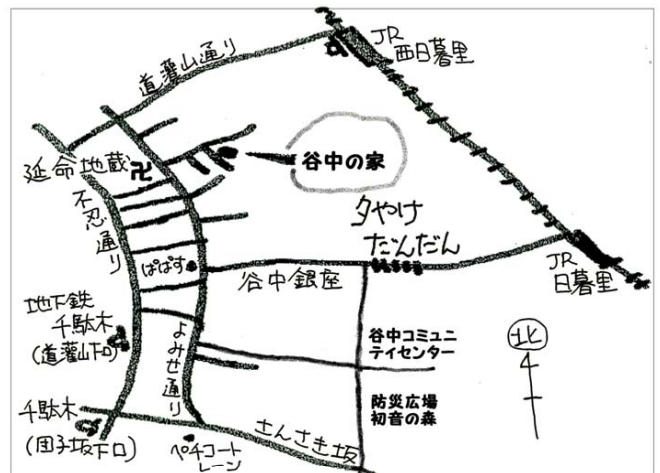
③電話 050-3059-6328 (小林)

■会場：谷中の家（台東区谷中3-7-11）

メトロ千代田線千駄木・JR日暮里・JR西日暮里下車徒歩7分。

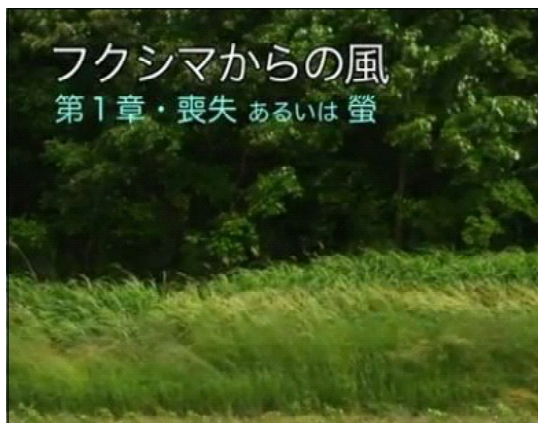
よみせ通り、延命地蔵を東へ入る、2筋目を南へ入って東側。

※築53年、耐震補強民家のコミュニティ・スペースです。



[第10回予告] 2月2日(土) 東津軽から加藤鉄監督を迎えて

『フクシマからの風』 + 『田神有楽』 上映 + 加藤鉄監督のお話



それでも人は生きていく
パンドラの箱に残ったものは――
(監督・撮影・構成＝加藤鉄 2011年／100分)



ナ(お前)沼の神になるべし ワ(俺)田の神になる
その気持ちでよ やるべし
(監督＝加藤鉄 2002年／113分)

●加藤鉄監督のことばから(『フクシマからの風』HPより) ●

1995年から4年間、私は青森県六ヶ所村に通い、核燃料の巨大施設に対峙しつつ一軒、土地を売らず、稲を守り育てていた小泉金吾さんの記録映画「田神有楽」を完成させました。その野武士のような生き方に魅せられて、私も隣の町に移り住み、畑づくりの生活にひとりで飛びこみました。泥と汗にまみれた月日は速く、小泉さんも今は亡くなり、そして3.11の原発事故。事故から1か月半たって、飯館村～南相馬～川内村へ3日間の視察撮影に同行し、その後私にカメラとビデオテープが提供されました。それにしても、その3日間に会った村の人たちのなんと魅力的だったことが……。結局、私はその人たちに呼ばれたのだと今では思うようになりました。この作品(フクシマからの風)は、私がこれまでの人生から共感し共鳴したいと思う人たちの撮影したものにちがいないのですが、自分にとっても、不思議な様々な出会いにより、奇跡のようにできあがった作品なのです。

【昼の部】13:30「フクシマからの風」+交流カフェ～16:30 【夜の部】17:30「田神有楽」+交流カフェ～20:40

参加費：各500円(交流カフェは別途飲食代として【昼の部】200円～、【夜の部】500円～カンパをお願いします)

主催 地域から未来をつくる・ひがし広場 <http://www.jtgt.info/>

地域から未来をつくる・ひがし広場(略称ひがし広場)は文京区、台東区、北区、足立区などの地域の住民有志が集まってつくっている会です。原発都民投票条例をつくるための署名活動から生まれました。署名集めから都議会で可決を目指すプロセスで、私たちは1人ひとりが主体的に考え、行動して社会に働きかけていくことの大切さを知り、同時にそれを地域のつながりを生かして進めていくことの楽しさを知りました。今あちこちで「社会の現状を知る、学ぶ、そして変えていくために主体的に行動する」人、グループがゆるやかにつながって、少しずつ輪が広がっています。